

6 / 30 (木) の発表


はじめよう、つづけよう。

「北海道スタイル」

～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 北海道スタイル



報道発表資料の配付日時 6月30日(木) 15時00分

発表項目 (行事名)	気候変動影響及び適応に関する道民アンケートの実施		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>【ポイント】</p> <p>○ 気候変動影響に関する情報を収集するとともに、地域住民の気候変動影響への関心等を深めることを目的として、標記アンケート調査を実施します。</p> <p>気候変動による影響やその規模は、その地域の気候や地形、社会状況によって異なるため、気候変動適応を進めるにあたっては地域の実情に合わせたきめ細やかな取組が求められます。</p> <p>現在では地域特有の気候変動影響に関する調査研究事例は少なく、またその分野も限られていますが、一方で、日々の生活や活動の中で気候変動影響を実感している地域住民は多く、そうした地域住民からの情報の中には、地方公共団体がこれまで気候変動影響と捉えていなかった地域にとって重大な影響が含まれている可能性があります。</p> <p>道ではこれらの詳細な情報やデータを収集するとともに、気候変動影響に関する情報の収集に参加いただくことで地域住民の気候変動適応への関心と理解を深めることを目的に、全道民を対象としたアンケート調査を実施します。</p> <p>調査期間：令和4年(2022年)7月1日～8月31日          調査方法：オンラインフォーム  <a href="https://www.harp.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=9ZWKHqQ4">https://www.harp.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=9ZWKHqQ4</a></p> 		
参考	本調査は「令和4年度国民参加による気候変動情報収集・分析事業(北海道)」の一環として実施するものです。		
報道(取材)に当たってのお願い	多くの方々にご参加いただくため、積極的な報道をお願いいたします。		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		
担当 (連絡先)	環境生活部ゼロカーボン推進局気候変動対策課気候変動適応係 (担当者：課長補佐(気候変動適応)菱沼 貴志) TEL ダイヤルイン 011-204-5189 内線 24-208		



# あなたのまわりの「なんとなく」 実は★★★★と関係あるかも??

2022.7.1~8.31

魚も野菜も最近  
高くて...

そういえば紅葉が遅い  
ような?

今年はまだスキー  
できないのかな...

エゾシカ、昔より  
増えたよな...

えっ?もう桜が  
咲いてるの!?

大雨とか暴風雨とか、  
最近多いな...

こんな時期まで蚊  
が出てたっけ?

実は同じよう  
に感じる方が  
...

やっぱり気  
のせいじゃ  
なかった!

最近どんどん暑く  
なってる気がする...

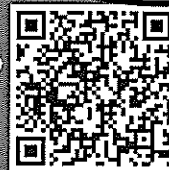
みなさんが普段の生活の中で感じているこうした「なんとなく」は、  
もしかすると温暖化による気候変動と関係があるかもしれません。

北海道ではみなさんの「なんとなく」をたくさん集めて、気候変動  
が北海道の環境や道民生活にどんな影響を与えているのか調べてい  
ます。ぜひ、あなたの声を聞かせてください!

大人も子どもも、道民ならだれでも!

スマホで  
かんたん!

アンケートにこたえてみよう!



<https://www.harplg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=9ZWKHqQ4>

**目的**

- ・地域住民の参加による気候変動影響情報の収集・分析、及び地域気候変動適応計画に貢献する科学的知見の創出
- ・地域住民の気候変動適応への理解促進

**内容**

- ・地域住民等を巻き込んだ地域の気候変動影響に関する情報の収集・分析
- ・地域の気候変動影響に関する情報の発信 など

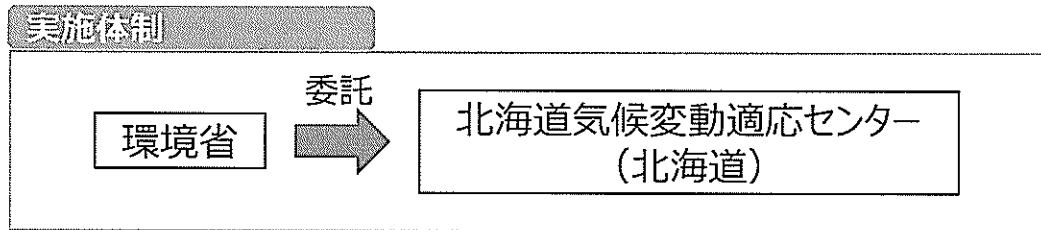
## 北海道R4事業概要

**情報収集**

- 1) 道内の農協・漁協との連携による情報収集**  
農協・漁協へのアンケート・ヒアリングにより、道内の地域毎の気候変動影響や適応の事例を収集
- 2) 観光団体・スキー場事業者との連携による情報収集**  
本道の特徴でもある冬期の雪の変化や観光業への影響、適応事例を収集
- 3) 一般道民からの情報収集**  
環境財団・地球温暖化防止活動推進員との連携や、道庁の出先機関（14 振興局）を通じた情報収集
- 4) 道民・事業者向けワークショップ**  
気象に関する情報を伝え考えることにより、気づきと情報収集の場として開催

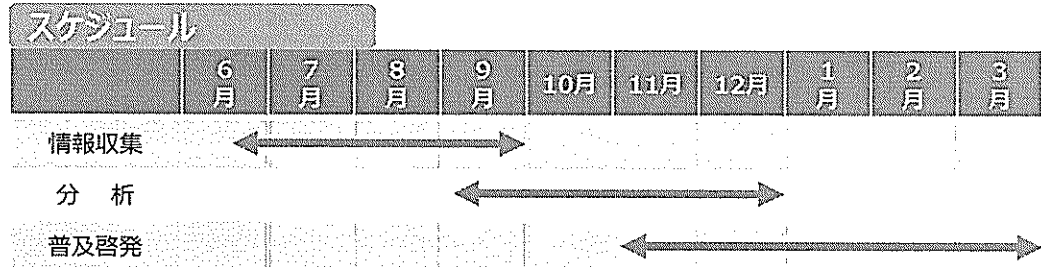
**普及啓発等**

- ・道民・事業者を対象としたワークショップの開催
- ・道適応センターホームページでの公表や庁内関係課、関係団体等への情報提供



**分析・整理**

- ・論文・文献調査（外部有識者に依頼）
- ・気候変動適応推進会議（国立環境研究所、北大、道立 総合研究機構等）での意見収集



**実施方法**

- ・環境省委託事業「令和4年度 国民参加による気候変動情報収集・分析地方公共団体委託業務」を利用
- ・事業費：3,980千円（10/10国費）